

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜市立市橋小学校		
実 施 期 間	平成25年11月2日(土)、11月3日(日)、11月9日(土) 11月18日(月)		
実 施 概 要	(1) 11/2 第2回資源分別回収(市橋小学校区全域) (2) 11/3 「地区文化祭」への参加(会場：市橋公民館) (3) 11/9 第2回学校開放日「コムスク市橋2013」(会場：市橋小学校) (4) 11/18 第3学年「大根の収穫」(場所：学校南借用農園)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会 <input checked="" type="checkbox"/> 映画鑑賞 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	5 5 4 人	計 6 8 0 人 ※上記(3)の参会者数
	地域関係者	1 2 6 人	
実 施 状 況	<p>(1) 11月2日(土) 第2回資源分別回収(主催：市橋小PTA)の実施 ・地区で個別回収あるいはステーション方式により回収し、各地区の資源回収委員の方々が集荷場「エクシモ(旧宇部日東化成)」駐車場へ持ち込んだ。</p> <p>(2) 11月3日(日) 「地区文化祭」への参加 ・第1学年～第6学年までの作品(図工、家庭、社会、総合等)を展示した。 ・「米作り」(第5学年の総合的な学習の時間)で収穫した餅米を使い、「餅つき」を行った。</p> <p>(3) 11月9日(土) 「コムスク市橋2013」(第2回学校開放日)の開催 ◇危険箇所、注意すべきことを確認しながら、保護者地域の方と共に登校班登校した。 ◇各学年の取り組み発表 ・青空「青空野菜でカレーライス大作戦！」 ・1年「さつまいもがとれたよ」 ・2年「ドリームシアターに行ったよ」 ・3年「発見 公共施設のひみつ」 ・4年「連合音楽会の発表曲演奏」 ・5年「わたしたちの論田川」 ・6年「見つめよう伝統を、つなげよう未来へ～伝統文化とわたしたち～」 ◇PTA活動の経過報告 「市橋小のパワーグッズ活動」他 ◇学年別行事 ・1年2年「昔の遊び体験」 3年「昔の話を聞く会」 4年「手話について」 5年「米づくり・論田川」 6年「岐阜に残る伝統文化を学ぶ」 ◇昼食→PTA提唱による「お弁当の日」の実践 ◇講演会「みんなちがって、みんないい」 講師：元岐阜大学教授 藤田敬一先生 (人権をテーマとした内容、全学年と保護者、地域住民) ◇映画鑑賞「新ちゃんがないた」(保護者・地域の方対象) ※児童の「帰りの会」の裏時間で</p> <p>(4) 11月18日(月) 第3学年「大根収穫」の実施 (台風の影響で育成不良のため、まず半分収穫) ・土地改良理事、JA職員の方々に支援していただきながら収穫した。</p>		

成果及び
課題

○成果

▲課題

(1)について

○昨年度のように他団体主催の開催時の回収品目とそろえたことにより、地域の各家庭からの協力を得やすくなった。学校環境を整えるための資金を得ることができた。

▲資源分別回収への児童の関わらせ方の一層の工夫←地区により回収方法が違うため

(2)について

○昨年度の反省から、展示内容を変えた。(図工・家庭科作品、社会科のまとめ学習等)

(3)について

○「親子での登校」は、子どもの姿を見つめ直すよい機会となった。全学年の取り組みの発表が聞けてよかった。子どもたちが一生懸命に発表していた。分かりやすくよかった。「学年別行事」に関しては、どの学年においても、子どもたちと保護者、地域の方とのふれあいが成立していてよかったとの声が多かった。時間通りの進行でよかった。PTAの報告があることで、PTA活動の理解が深まってよいとの声が聞かれた。講演会では、全校児童が興味・関心をもって話を聞き、「人権」というテーマについて考える大切な機会となった。今後も続けてほしいという保護者や地域住民の声が多かった。

▲「学年の取り組み発表」の仕方にさらに工夫を(できるだけ大勢が前に出て発表する) 昨年と同様に、特に体育館で一部の保護者の参加姿勢(私語の多さ)が気になった。

(4)について

○関係者の支援のおかげで、貴重な収穫体験をすることができた。台風の影響で生育が予定通りでなく、2回に分けての収穫となった。収穫物を持ち帰り調理してもらうことで、親子の会話の機会が増えた。

▲支援者(地域諸団体)の功績の周知の仕方及び、子どもの関わらせ方の一層の工夫